

当院眼科にて緑内障治療を受けている患者さんへ

治療データ提供のお願い

当院では眼科に通院されている方を対象に、緑内障における視神経障害のタイプの違いが視野障害の違いに与える影響について調べる研究を行うことになりました。

緑内障は、視神経のもとになる網膜神経節細胞の軸索が障害され、それに相当する部分の視野が障害される疾患です。軸索の障害はいくつかのタイプに分けられますが、どのタイプの視神経障害でどのような視野障害が生じるのかは、未だ明らかにされていません。

本研究では、緑内障における視神経障害のタイプによる視野障害の違いを調べ、それぞれの予後や、治療はいつ始めるのが適切なのかについて明らかにすることを目標にします。そのため、該当する患者さんのカルテ等の治療データを解析や検討に使用させていただきます。

- ✓ この調査研究は秋田赤十字病院倫理委員会で審査され、承認を受けて行われます。研究の対象となる期間は2023年4月から2027年3月までです。
- ✓ 調査研究の対象は、当院で緑内障治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データです。
- ✓ すでに行われた治療のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ✓ データは個人が特定されないよう匿名化し、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ✓ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ✓ この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- ✓ この調査研究についてデータ使用を希望されない患者さん、また、ご意見ご質問がございましたら、下記の研究責任者までご連絡下さい。

秋田赤十字病院 眼科
研究責任者 澤田 有
TEL: 018-829-5000 (代)